

1 学校経営管理全体計画

校訓
自主・敬愛・剛健

めざす生徒像

- ・進んで学ぶ生徒
- ・思いやりのある生徒
- ・たくましい生徒
- ・郷土を愛する生徒

学校教育目標

自主・自治・自立
自ら考え、相談し、
自分たちでつくる学校

凡事徹底
規範意識と継続的な実行力

人・物・時間を大切に
(地域・保護者・学校で育てる)

大津市教育大綱基本理念
新しい価値と可能性を追求する大津の教育
～多様性を尊重し自立する人～

めざす教職員像
～生徒・保護者・地域から
信頼を得るよう努める教職員～

- ・繊細な人権感覚を持つ教職員
- ・奢らず決めつけず諦めない、生徒に自己決定の場と自己存在感を与え共感的人間関係を育成する指導力のある教職員
- ・夢を語り自ら学び互いに高め合う教職員

本年度の重点目標
「居ごち・学びごちのよい学校づくり」
～ユニバーサルデザイン(UD)の視点を取り入れて～

授業のUD

教室環境のUD

教育のUD

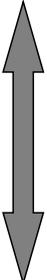
人的環境のUD

I【人的環境のUD】：心にアプローチ、学級を柔らかく教え支え合う関係性づくり
II【授業のUD】：「視覚化・焦点化・共有化」を柱に「ひきつける(導入)」「むすびつける(生徒同士)」「方向付ける(ねらい)」「そろえる(理解)」「実感させる(達成)」
III【教室環境のUD】：居ごちよく、落ち着いて集中しやすい教室環境

- ①笑顔があふれ好きになる学校(居場所)：生徒自身が自分を好きになることが一番、そのための生徒の人権尊重丁寧な対応、「なぜ？」背景に視点を持って笑顔を忘れず生徒に語れる教職員
- ②魅力ある教育実践：「わかった！できた！」と実感し主体的に学びに向かう授業づくり
生徒同士が教え合い学び合うことを軸にした互いに認め高め合う集団づくり
- ③生徒指導・教育相談・特別支援教育の一体化：「いつでもどこでも相談」を軸に3つの視点で生徒を見守り支援する。
- ④信頼される学校教職員：保護者対応力を高め細やかな家庭連携強化(最大の味方に)と地域連携

安心・信頼感のある学校(居場所)づくり

- ★次世代を生き抜く確かな学力の向上
 - UD視点からの授業づくりと集団づくり
 - 基礎学力の定着を目指した取組の推進
- ★積極的な生徒指導支援「指示は統一、指導は個別」
 - 生徒指導3つの機能を活かした仕掛け
 - 生徒会活動を中心とした生徒主体の活動の推進し自己有用感を育む工夫
- ★教職員の資質向上「教師が最大の教育環境である」自覚
 - 危機管理における「気づきと発信」と「チームで対応」
 - 教職員個々の生徒保護者対応力を磨き自信をつける



家庭・地域・保幼小中連携

- ★家庭教育の充実 保護者の理解と協力姿勢を育む
- ★地域連携の充実 CSを通じたボランティア活動を推進し自己有用感を育む機会を増やす
- ★関係機関連携の充実
- ★学校だより、学年通信、HP等の充実
- ★校園連携事業の推進
「中学校区の子どもの育ちを支える」【中学校版】
 - ①「人」を大切に！ 人とのつながり・思いやり
 - ②「物」を大切に！ 物の扱い・物事への取組姿勢
 - ③「時間」を大切に！ 時間に見通しをもった行動力

教科指導の工夫 (授業改善)	総合的な学習の 時間の充実	「特別の教科道徳」 の研究推進	三つの視点を踏まえた 特別活動の推進	教育のUD化を目指し、チーム 体制の強化
<p>※「授業のUD」を意識した授業づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎校内研究における全教員による授業公開と授業研究会を実施、講師招聘した学習会の提案 ◎「めあて」・「振り返り」の徹底 ◎基礎学力の定着を目指した学習支援 ◎ICT実践推進 	<p>※人的環境のUDを意識した仲間づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎課題発見、問題解決等の資質や能力の育成 ◎探求的な学習・協同的な学習を重視 ◎体験活動の積極的な設定 ◎地域の歴史と文化を生かした学習と地域連携 ◎異年齢とのふれあいのある活動を企画する 	<p>※人的環境のUDを意識した関係性とセルフマネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う ◎広い視野から多面的・多角的に考える ◎自己の生き方についての考えを深める ◎道徳の実践力、判断力を身につける ◎教科化に向けた校内研修の充実 ◎道徳の授業を保護者・地域に公開する 	<p>※人的環境のUDを意識した仲間づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」の三つの視点における資質・能力の育成 ◎学級における係や班活動の活発化と自治的な運営、教室環境の整備 ◎生徒会活動の3本柱 <ol style="list-style-type: none"> ①常時活動(専門委員会) ②いじめ防止活動 ③ボランティア等地域連携活動を中心に、生徒会活動の活性化を図る 	<p>※教育のUDを共有し、各学年、学校全体で臨機応変に仕掛けていく柔軟さをもつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎学年主任を中心に担任団がまとまり、一人ひとりの生徒の思いや個性を尊重し、互いに受け入れる豊かな感性を身につけた集団の育成を図る ◎3人の学年主任が横の連携を密にし、基礎学力の育成、社会生活に必要なルールやマナーの育成、まわりの人の気持ちを考え、人と協力しようとする姿勢の育成を仕掛け各学年集団を高めていく

TEAM南郷中 「温かく信頼される教員集団」

学年経営の重点目標		
1年	2年	3年
中学生としての自覚を持たせ、一人ひとりが互いの個性を認め合い、協力して授業やさまざまな活動に取り組む中で、高め合える関係を構築し、誰にとっても居ごちがよく笑顔があふれる学年集団をつくる。	個性を大切に、仲間に優しく、望ましい人間関係を構築させる。また、授業を大切に、自ら学ぶ意欲を高め、学力の定着を図る。さらに、中堅学年としての自覚と責任を持たせ、社会の一員としての行動を意識できる生徒を育てる。	自らの力で創造することのできる学年集団の育成を図る。わかる喜び・人と関わる楽しさを自らの力で創り上げさせることで自信を培い、集団に誇りを持ち、社会をよりよく生きる力を身に付けさせる。

